

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 58	提案機関名 神奈川県畜産会
要望問題名 神奈川の市場が求める豚肉を生産するための雄系の作出配布	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川の市場ではテーブルミートへの流通が主体であり、日本の中でも際立って肉質にこだわった食味のいい豚肉が求められている。しかし、現在入手できる雄系（デュロック）は市場格付規格を逸脱しない形質が基本であり、脂肪交雑の食味とは相反することが多い、そこで、肉質（脂肪交雑等）のおいしさを追求した神奈川の豚のための雄系を作出し、生産者に増産配布していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 多産系母豚の飼育管理技術の確立 (H29～R2)		
対応の内容等	近年、生産者、消費者双方に関心の高まりをみる豚肉の脂肪交雑については、今後の養豚業においても重要なテーマの一つであり、県内生産者が望む種豚を供給することは県試験機関の重要な役割と認識しています。 県内においては、各生産者がこだわりのある豚肉を生産するため、農場毎に様々な特徴を持った雌系を飼養しており、市場から求められる枝肉に対して各農場の雌系に対応した雄系を当所で作出することは難しい状況です。 現在実施中の多産系母豚を活用した肉豚生産試験では、雄系（国内流通デュロック）の違いによる肉質（背脂肪厚、脂肪交雑、柔らかさ、食味評価等）の比較調査を行っており、得られた成績は県内農家の優良種豚あるいは肉豚生産の基礎データとして利用してもらえるよう情報提供に努めます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			